



三郷市 Misato City

三郷市陸上競技場ネーミングライツ・パートナー 協定を締結しました 愛称 セナリオハウスフィールド三郷

令和6年1月17日(水)、三郷市役所において、三郷市(木津雅晟市長)と広島建設株式会社(代表取締役:島田秀貴、本店:千葉県柏市豊四季1004番地)は、三郷市陸上競技場(埼玉県三郷市泉三丁目4番地)に係るネーミングライツ・パートナー協定を締結しました。

三郷市は、三郷市陸上競技場の良好な運営と安定的な財源の確保を目的として、競技場がオープンした平成30年度にネーミングライツ・パートナー制度を初導入。三郷市と広島建設株式会社は、競技場オープン当初からネーミングライツ・パートナー契約を締結しており、次期契約で3度目の契約締結となります。

次期契約期間については、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間、契約額は3,510,000円/年(税抜き)となり、これまで使用してきた愛称『セナリオハウスフィールド三郷』を継続して使用することとなります。

三郷市陸上競技場は、平成30年6月3日、フルウレタン仕様の8レーントラックと、人工芝のインフィールド、及び縦8メートル横16メートルの大型映像装置を持つ日本陸上競技連盟第4種公認陸上競技場としてオープン。令和3年7月には、東京2020オリンピック大会の際には、ギリシャ共和国陸上競技連盟の事前トレーニングキャンプの会場として34名の選手団がトレーニングに利用し、男子走り幅跳びで金メダルを獲得したミルトス・テントグル選手も練習をしました。また、令和5年2月には、日本陸上競技連盟第3種公認陸上競技場に格上げし、現在は、大学生の陸上競技公認大会や関東ラグビーリーグの大会会場にも利用され、大変好評を得ています。

オープン当初から6年間ネーミングライツ・パートナー契約を締結している三郷市と広島建設株式会社様は、次期契約を踏まえ、引き続き、陸上競技場に係る連携を更に推進し、友好的な関係を続けてまいります。

【三郷市及び広島建設のコメント】

市長コメント:契約更新ありがとうございます。今後も陸上競技場が多くの方に利用していただけるようにPRしてまいります。

島田代表コメント:競技活動やイベント等を通して大変多くの市民の皆様にご利用いただき、愛称が広く認知いただいていることを嬉しく思います。



(参考)広島建設株式会社とのこれまでの契約

第1期契約

契約期間:平成30年度から令和2年度(3年間)

契約額:1,350,000円/年(税抜き)

愛称:セナリオハウスフィールド三郷

第2期契約

契約期間:令和3年度から令和5年度(3年間)

契約額:3,111,111円/年(税抜き)

愛称:セナリオハウスフィールド三郷

第3期契約(今回の契約)

契約期間:令和6年度から令和8年度(3年間)

契約額:3,510,000円/年(税抜き)

愛称:セナリオハウスフィールド三郷

<この情報提供に関するお問い合わせ>

・三郷市地域振興部スポーツ振興課管理係

TEL048-930-7760

(2024/1/18 三郷市提供)